

IT時代の自計化を前提とした巡回監査について

開催日:平成29年12月13日14:00~17:00 場所TKC近畿京滋会研修センター



27事務所34名に参加いただきました。平成30年6月1日に同研修を再度開催致します。今回ご参加いただけなかった事務所様は是非ご参加をご検討下さい。

技術革新により激変する会計事務所の業務

AIの進化は巡回監査を不要にするのか？

- ①AIは帳簿の証拠力を保証できるのか？
- ②AIは経営者の親身な相談相手になるのか？
- ③巡回監査せずに税理士としての責任を果たせるのか？
- ④巡回監査せずに顧客の満足を得ることはできるか？



TKC近畿京滋会 本間 憲 先生

税理士の社会的役割を正しく理解し行動するならばAIが巡回監査を不要にすることはないだろう。

TKC方式の自計化を前提とし、経営助言や保証業務をふまえた質の高い巡回監査こそが未来への鍵！

銀行信販データ受信機能やTKC証憑ストレージサービスの活用により、業務の効率化を図りましょう。そして、書面添付の実践、継続MASを活用した経営助言業務により税理士としての真価を発揮しましょう！

IT時代の自計化を前提とした巡回監査「変わるもの」「変わらないもの」「変えるべきもの」

1. 変わらないもの

- 毎月関与先を訪問し、巡回監査を実践
- 全部監査を実施
- 経営方針の健全性を吟味

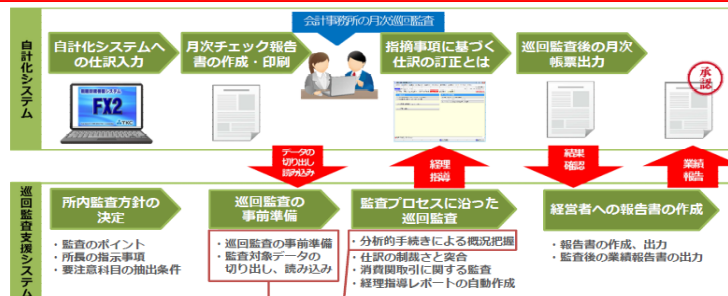
2. 変わるもの

- 証拠書類が紙から電子へ
- 経営者からの期待、価値観が「決算申告」→「判断業務、経営助言、証明業務」

3. 変えるべきもの

- Fintechや電子証憑に対応した巡回監査の手順
- 『巡回監査報告書』、巡回監査支援システム等のツールを活用
- Fintechや電子証憑に対応した証明三表による事務所の法的防衛
- 翌月巡回監査実施割合、KFS実践割合、黒字割合等の巡回監査の質の向上

巡回監査支援システムは活用できていますか？



巡回監査に行く前に事務所での事前確認が可能に！

- ・巡回監査前に事前監査が可能
- ・巡回監査業務の標準化・効率化・商品化を実現
- ・レポート機能として、所長・経営者への報告、経理指導、書面添付への準備が可能
- ・OMSでの報告・閲覧・指示が可能

巡回監査・事務所経営委員会からのご案内

TKCモニタリング情報サービスの活用を！

今後の税理士業務は保証業務が強みとなっていでしょう。監査済みの試算表・決算書をタイムリーに金融機関へ提供できるTKCモニタリング情報サービスは差別化につながります。金融機関へ周知していく必要性があるため、積極的な活用をお願い致します。

巡回監査率分析表の表示設定の見直しを！

月次巡回監査の必要性をご理解いただき、巡回監査率の公表にご賛同下さい。また、正確な数値を確認するために、巡回監査分析表に集計する関与先の見直しをお願いします。

事務所総合力強化プロジェクト

からの必見情報！

「IT時代の自計化を前提とした事務所経営」平成30年7月4日(水)メルパルク京都 講師: TKC神奈川会の吉野太先生 次の時代を見据えた事務所経営を真剣に考えませんか？是非ご参加下さい。事務所総合力強化プロジェクトでは、高付加価値業務を支援する研修をご用意しています。今後の研修予定は研修案内をご確認下さい。

TKC近畿京滋会 巡回監査・事務所経営委員長 岡村 勇毅 先生